

コンポントムから秋田へ！



勝手にアンバサダー/VOL1



プレアンコール時代の世界遺産・サンボープレイクック遺跡を擁する街の観光振興のため活動中。

コンポントムからこんにちは！青年海外協力隊としてカンボジア・コンポントム州に派遣されております舩屋彩子（ますや・あやこ）と申します。青年海外協力隊といえば、学校の先生や医療系のイメージが強いかもしれませんが、私の職種は少々レアな“観光”。配属先は、コンポントム州観光局・観光開発計画課。日本でいうところの、市役所の観光振興課のようなところです。2019年の1月にカンボジアに赴任してから、早1年半が経過しました。このレポートを通して、カンボジア・コンポントム州の理解が深まりますように！



カンボジアってどんな国？

カンボジアは面積18.1平方km（日本の約1/2弱）、人口16.3百万人。公用語はクメール語。平均年齢はなんと25歳という若者の国！

主食はお米。粘り気があって美味しいですよ。日系企業も多く進出しており、首都プノンペンにはなんとイオンモールが2店舗もあります。”味の素”はとっても有名で、”AJINOMOTO！！”と言うと盛り上がりますよ。笑



コンポントム州って

どんなところ？

コンポントム州は、首都プノンペンとアンコールワットのあるシェムリアップ州のある中間地点に位置し、都市間バスの休憩地として賑わっています。また、2年前には”サンボープレイクック遺跡”がカンボジア第3の世界遺産登録となった注目の街です。名産はカシューナッツ。粒が大きく甘みが強いのが特徴。その美味しさからじわじわと人気が出てきております。



日本人の名前を冠した学校

中田厚仁さんという方をご存知でしょうか。1993年、国連ボランティアとして活動中、何者かに襲撃され25歳という若さでコンポントム州にて殉職。その後、彼を讃えて”ナカタアツヒト村”という村ができ数年後には”アツ小学校”が建設されました。



簡単ではありますがカンボジアと任地の紹介でした。いかがでしたでしょうか？
今後も任地コンポントム州やカンボジアについて皆様に発信していきたいと思っています。
最後までお読み頂きありがとうございました！